

2017年(平成29年) 研究業績

講座・研究室名: リハビリテーション医学

所属長: 藤原 俊之

区分	番号	学位論文	タイトル	著者・編者	掲載情報 雑誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文原著	1		The effects of patterned electrical stimulation combined with voluntary contraction on spinal reciprocal inhibition in healthy individuals.	Takahashi Y, Fujiwara T, Yamaguchi T, Kawakami M, Mizuno K, Liu M:	Neuroreport 28: 434-438, 2017.	
英文原著	2		After-effects of pedaling exercise on spinal excitability and spinal reciprocal inhibition in patients with chronic stroke.	Tanuma A, Fujiwara T , Yamaguchi T, Ro T, Arano H, Uehara S, Honaga K, Mukaino M, Kimura A, Liu M.	Int J Neuroscience 127: 73-79, 2017.	
英文原著	3	*	Navigated transcranial magnetic stimulation for glioma removal: prognostic value in motor function recovery from postsurgical neurological deficits.	Takakura T, Muragaki Y, Tamura M, Maruyama T, Nitta M, Niki C, Kawamata T	J Neurosurg. 2017;127(4):877-891	
英文原著	4		Evidence that phosphorylated ubiquitin signaling is involved in the etiology of Parkinson's disease.	Shiba-Fukushima K, Ishikawa KI, Inoshita T, Izawa N, Takanashi M, Sato S, Onodera O, Akamatsu W, Okano H, Imai Y, Hattori N	Hum Mol Genet 26(16) 3172-3185;2017	
英文原著	5		White matter lesions and cognitive impairment may be related to recovery from unilateral spatial neglect after stroke	Chisako Köder Kamakura, Yuji Ueno, Yuzuru Sakai, Hisao Yoshida, Saiko Aiba, Akito Hayashi, Hideki Shimura, Katsuhiko Takeda, Keiko Kamakura, Nobutaka Hattori, Takao Urabe	Journal of the Neurological Sciences 379(2017)241-246	
区分	番号	学位論文	タイトル	著者・編者	掲載情報 雑誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
和文原著	1		リハニュース リハビリテーション関連雑誌における評価法使用動向調査(9)	志波 直人, 水尻 強志, 太田 喜久夫, 小山 祐司, 殷 祥洙, 高橋 真紀, 高倉 朋和, 関 聰介, 名護 健, 田澤 昌之, 沢田 光思郎, 日本リハビリテーション医学会評価・用語委員会	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2017;54(2):158-166	
区分	番号	学位論文	タイトル	著者・編者	掲載情報 雑誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文総説	1		Hybrid Assistive Neuromuscular Dynamic Stimulation Therapy: A new strategy for improving upper extremity function in patients with hemiparesis following stroke.	Fujiwara T, Kawakami M, Honaga K, Tochikura M, Abe K:	Neural Plasticity 2350137: .10115520172350137, 2017.	

区分	番号	タイトル	著者・編者	掲載情報 雑誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
和文総説	1	HANDS therapy, BMI.	藤原俊之:	臨床リハビリテーション 26: 1098-1103, 2017.	
和文総説	2	Hybrid Assistive Neuromuscular Dynamic Stimulation (HANDS) therapy.	藤原俊之:	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 54: 574-578, 2017.	
和文総説	3	廃用症候群の息切れの機序とそれに対するリハビリテーション.	補永 薫, 藤原俊之:	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 54: 957-960, 2017.	
和文総説	4	脳卒中治療ガイドラインから読み解く新しいリハビリテーションの流れ.	藤原俊之:	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 54: 293-296, 2017.	
和文総説	5	Hybrid Assistive Neuromuscular Dynamic Stimulation (HANDS) therapy.	藤原俊之:	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 54: 574-578, 2017.	
和文総説	6	HANDS therapy.	藤原俊之:	Clinical Neuroscience 35: 580-583, 2017.	
和文総説	7	EBMに基づく研究・発表の進め方 研究・発表のスタートアップ	高倉朋和	日本義肢装具学会誌, 2017: 33 (1) 71-78	
和文総説	8	【皮膚病変とその対策】 陰圧閉鎖療法(NPWT)による皮膚欠損治療と装具療法の役割 コンパートメント症候群を中心に	高倉朋和	日本義肢装具学会誌, 2017: 33 (1) 33-39	
区分	番号	書籍名	著者・編者	掲載情報 出版社・掲載年; 巻(号)等	国際共同
和文著書	1	関節リウマチ・膠原病. 現代リハビリテーション医学.	藤原俊之:	金原出版, 325-328, 2017.	
和文著書	2	合併症. 現代リハビリテーション医学.	藤原俊之:	金原出版, 399-403, 2017.	
区分	番号	演題	発表者	学会名・場所・発表年月日等	国際共同
特別講演	1	Transcutaneous spinal cord stimulation.	Fujiwara T:	第1回 International Neurorehabilitation and Neuroscience Conference, 2017, Tokyo.	

特別講演	2	新しいリハビリテーションの流れ.	藤原俊之:	第8回 神奈川脊髄障害ネットワーク研究会, 2017, 横浜.	
特別講演	3	リハビリテーション医学と最新研究.	藤原俊之:	Cerebral & Diabetic Conference 2017, 2017, 川越.	
特別講演	4	脳卒中リハビリテーションの新しい流れ	藤原俊之:	第42回 日本リハビリテーション医学会 北陸地方会, 2017, 金沢.	
特別講演	5	「パーキンソン病治療」～リハビリテーション指導の観点から～	林 明人	パーキンソン病リハビリテーション勉強会 2017年4月21日、千葉	
特別講演	6	「パーキンソン病のマネジメントと最新リハビリ」	林 明人	パーキンソン病学術講演会 2017年4月27日、茨城	
特別講演	7	「神経難病のリハビリテーション ～パーキンソン病に対する最新リハビリテーション～」	林 明人	阿賀北地区神経難病フォーラム、2017年6月16日、新潟	
区分	番号	演題	発表者	学会名・場所・発表年月日等	国際共同
招待講演	1	脳卒中リハビリテーション.	藤原俊之:	病態別実践リハビリテーション医学研修会, 2017, 東京.	
招待講演	2	痙縮に対する電気刺激療法.	藤原俊之:	第4回 日本ボツリヌス治療学会, 2017, 東京.	
招待講演	3	HANDS therapy-片麻痺上肢の新しい治療. ハンズオンセミナー.	藤原俊之:	第47回 日本臨床神経生理学会, 2017, 横浜.	
招待講演	4	How to use NIBS i rehabilitation.	Fujiwara T:	第47回 日本臨床神経生理学会, 2017, 横浜	
招待講演	5	歩行関連神経回路のneuromodulation.	藤原俊之:	第47回 日本臨床神経生理学会, 2017, 横浜.	
招待講演	6	痙縮に対するボツリヌス治療-機能改善といたいに対する治療.	藤原俊之:	第10回 日本運動器疼痛学会, 2017, 福島.	
招待講演	7	リハビリテーション医療現場における機器開発とその実用化. 医療福祉分野の研究・開発におけるニーズ・シーズのミスマッチとその解決.	藤原俊之:	第17回 日本生活支援工学会大会 Life 2017, 2017, 東京.	

招待講演	8	Entrapment neuropathy.	藤原俊之:	第54回 日本リハビリテーション医学会学術集会, 2017, 岡山.
招待講演	9	「スポーツリーダーに必要な医学的知識」	林 明人	つくば市役所、2017年7月2日、茨城
招待講演	10	「Update On Treatment for Gait Disorders」	林 明人	Evidence Based Medicine on Parkinson's Disease and Gait Disorders、2017年9月14日、京都
招待講演	11	「パーキンソン病のリハビリテーションと音楽療法」	林 明人	パーキンソン病治療戦略講演会、2017年11月27日、 前橋

区分	番号	発表タイトル（題目・演題・課題等）	発表者	学会名・場所・発表年月日等	国際共同
海外学会発表	1	Transcutaneous spinal stimulation for gait rehabilitation among patients with stroke..	Fujiwara T, Ushiba J, Masakado Y:	Anual meeting of the international fuctional electrical stimulation society 2017, 2017, London.	
海外学会発表	2	Development of Ankle Rehabilitation Device which can Mechanically Avoid Undesirable Load.	Daisuke Matsuura, Toshihiro Ichinoseki, Tasuke Ogawa, Yuji Ichikawa, Tomokazu Takakura, Susumu Tachikawa, Koji Yoshihara, Hiroshi Ujiie and Yukio Takeda	IEEE International Conference on Robotics and Automation, Singapor, May 29, 2017	
海外学会発表	3	Role of preoperative DTI tractography for surgical management of gliomas.	Tamura M, Maruyama T, Mangin JF, Sato I, Nitta M, Takakura T, Yoshimitsu K, Konishi Y, Okamoto J, Ikuta S, Masamune K, Kawamata T, Iseki H, Muragaki Y:	Computer Assisted Radiology and Surgery, Barcelona, Spain, June 24, 2017,	
海外学会発表	4	Analysis of planter pressure during standing and walking in patients with Parkinson's disease.	Izawa N, Iwamuro H, Tani M, Hatori K, Hattori N, Fujiwara T	23th World congress of neurology, September 16-21 2017, Kyoto, Japan	
海外学会発表	5	The effectiveness of rehabilitation with stimulation after STN-DBS in moderate Parkinson's disease patients.	Sato K, Kuwano S, Hirai E, Hokari Y, Izawa N, Fujiwara T	23th World congress of neurology, September 16-21 2017, Kyoto, Japan	
海外学会発表	6	Hyoid displacement during the pharyngeal stage of swallowing in patients with Parkinson's disease.	Hatori K, Suzuki Y, Izawa N, Tani M, Hattori N, Fujiwara T	23th World congress of neurology, September 16-21 2017, Kyoto, Japan	
区分	番号	発表タイトル（題目・演題・課題等）	発表者	学会名・場所・発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	ボツリヌス治療後Hybrid Assistive Neuromuscular Dynamic Stimulation (HANDS) therapyを施行し、上肢機能の改善を認めた小児脳卒中の一例	谷 真美、伊澤奈々、羽鳥浩三、藤原俊之	第1回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 大阪 2017年10月28日（土）	
国内学会発表	2	パーキンソン病患者のADL構造分析	山下晴世	第1回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 大阪 2017年10月28日（土）	
国内学会発表	3	Abnormal between network connectivity and ineffective compensatory activation in mTBI patients.	Takakura T.	第54回日本リハビリテーション医学会、ホテルグランヴィア岡山、2017年6月9日	
国内学会発表	4	Abnormality of between network connectivity and ineffective compensatory activation in mild traumatic brain injuty patients.	Takakura T, Ujiie H, Nakagawa M, Arai D, Sato S, Teramoto	第6回日韓ニューロリハビリテーション学会、富山国際会議場、2017年4月23日	
国内学会発表	5	レジオネラ肺炎により失調性構音障害、嚥下障害を呈した一例	高倉朋和、鈴木久美子	第67回日本リハビリテーション医学会関東地方会、大田区産業プラザPio、2017年9月30日	

国内学会発表	6	バランス練習アシスト (BEAR) の有効性-透析患者への利用-	長岡正範、吉田司、保苺吉秀、林康子、伊澤奈々、羽鳥浩三	第54回日本リハビリテーション医学会学術集会、岡山県岡山市.2017年6月8日	
国内学会発表	7	バランス練習アシスト (BEAR) の有効性-KDQOL-SFTMによる評価-	林康子、吉田司、保苺吉秀、伊澤奈々、羽鳥浩三、長岡正範	第54回日本リハビリテーション医学会学術集会、岡山県岡山市.2017年6月8日	
国内学会発表	8	多発骨病変を伴った成人T細胞白血病症例に対するリハビリテーションアプローチ 整形外科手術・放射線療法・化学療法を経て歩行獲得まで	永島修子、吉田司、川上陽子、阿瀬寛幸、北原エリ子、野上典子、伊澤奈々、窪田大介、高木辰哉、佐々木純、笹井啓資	第22回日本緩和医療学会学術大会、兵庫県神戸市.2017年6月23日	
国内学会発表	9	顔面と口腔内の感覚機能改善を重点に介入したFacial onset sensory and motor neuropathy (FOSMN)症候群の一例	富田春菜、杉野佑子、伊澤奈々、藤原俊之	第18回日本言語聴覚学会、島根県島根市.2017年6月23日	
国内学会発表	10	腰部脊柱管狭窄症に対する除圧後にDBS刺激依存性有痛性筋痙攣を呈したパーキンソン病の一例	岩室宏一、伊澤奈々、原毅、中城博子、大山彦光、梅村淳、下泰司、新井一、藤原俊之、服部信孝	第11回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres.東京都品川区2017年10月28日	
国内学会発表	11	パーキンソン病患者での足圧測定機能付きトレッドミルを用いた立位・歩行時の足圧分析	伊澤奈々、岩室宏一、谷真美、羽鳥浩三、服部信孝、藤原俊之	第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会.大阪府大阪市2017年10月28日	
国内学会発表	12	ボツリヌス治療後HANDS therapyを施行し、上肢機能の改善を認めた小児脳卒中の一例	谷真美、伊澤奈々、羽鳥浩三、藤原俊之	第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会.大阪府大阪市2017年10月28日	
国内学会発表	13	パーキンソン病患者のADL構造分析	山下晴世、饗庭三代治、谷真美、伊澤奈々、羽鳥浩三、藤原俊之	第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会.大阪府大阪市2017年10月28日	
国内学会発表	14	パーキンソン病患者での足圧測定機能付きトレッドミルを用いた立位・歩行時の足圧分析	伊澤奈々、岩室宏一、谷真美、羽鳥浩三、服部信孝、藤原俊之	第47回日本臨床神経生理学会学術大会.神奈川県横浜市.2017年11月30日	
国内学会発表	15	外傷性下肢切断のリハビリテーション	寺門厚彦	第43回日本骨折治療学会、福島、2017年7月7日 (パネルディスカッション)	
国内学会発表	16	携帯歩行系による脳卒中片麻痺患者の歩行分析	相場彩子	第36回千葉県リハ医学懇話会、千葉.2017年2月16日、	
国内学会発表	17	携帯歩行系を用いたアルツハイマー型認知症(A D)患者の歩行解析	相場彩子	第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会、大阪2017年10月29日	
国内学会発表	18	携帯歩行系を用いたアルツハイマー型認知症(A D)患者の歩行解析	相場彩子	第36回日本認知症学会学術集会、金沢 2017年11月26日	
区分	番号	タイトル等	発表者・著者	掲載・発表情報等	国際共同

その他 (広報活動を含む)	1	脳卒中の後遺症	藤原俊之	週刊朝日MOOK 名医の最新治療2017	
その他 (広報活動を含む)	2	高齢者のリハビリテーション	山下晴世	順天堂大学看護学部と三島市が共催する「家族介護教室」において 2017年9月13日	
その他 (広報活動を含む)	3	静岡県指定強化選手選定委員会委員	寺門厚彦	2017年9月27日 静岡県庁	
その他 (広報活動を含む)	4	脳いきいき運動教室	寺門厚彦	2017年10月19日 裾野市富岡コミュニティセンター	
その他 (広報活動を含む)	5	脳いきいき運動教室	寺門厚彦	2017年11月9日 裾野市福祉センター佐野（あじさいホール）	
その他 (広報活動を含む)	6	平成29年度公益財団法人日本体育協会公認自転車指導員養成講習会	寺門厚彦	2017年12月23日 伊豆ペドローム	
その他 (広報活動を含む)	7	「からだの質問箱」	林 明人	2017年4月16日 読売新聞：朝刊	
その他 (広報活動を含む)	8	臨床実習、臨床研修における大学病院・臨床研修病院と地域医師会との具体的な連携（答申）	林 明人	2017年4月24日 公益社団法人東京都医師会生涯教育委員会	
その他 (広報活動を含む)	9	第14回神経難病における音楽療法を考える会	林 明人	大会長、2017年11月18日（土）、大宮ソニックシティビル4階市民ホール	